

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



SSKP

いずみ

No.

155

2009年12月

社会福祉法人 泉会

法人本部
泉の家〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号
☎03(3417)3451(代) 03(3426)5359
izumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/izumi/

日の出舎

〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
☎042(597)1451(代) 042(597)2205
info@hinodesha.org
http://hinodesha.org/岡本福祉
作業ホーム〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
☎03(3415)3366(代) 03(3415)4976
okamoto@izumikai.jp
http://izumikai.jp/okamoto/岡本ホーム
玉堤分場〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号
☎03(5707)9431(代) 03(5707)9433
tamatumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/tamatumi/

内装工事も始まりました。11月20日現在

本年の聖句
もし、わたしたちが見ないことを望むなら、わたしたちは忍耐して、それを待ち望むのである。御霊もまた同じように、弱いわたしたちを助けてくださる。・・・なぜなら、聖徒のために、神の御旨にかなうとりなしをしてくださるからです。神は、神を愛する者たち、すなわち、神のご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにしてくださることを、私たちは知っている。

(ローマ人への手紙8章25-28)

感動と感謝

理事長 橋向敏治



55年前に誕生し世田谷の地で多くの方々に支えられた泉会が、10数年振りでチャリティ・コンサートを行いました。音楽を通して心温まる交流が成城ホールで実現出来ました。ピアノ奏者の大熱演とお話に私どもは大きな喜びと感動が生じ、会堂が熱気に溢れ、実りある時を共有出来て感謝です。

『何事にも時が有り、天の下の出来事には、

すべて定められた時が有る』

自分の苦しさや辛さを追いかけ、他者に目が往かない。独りよがりにならないように視点を変えれば暖かい情感が生まれ、見方が変わり、光が見えます。恨みや憎しみを小さく、優しい思いが、命に変わり共に生きている。少しでも何かを我慢し、分ける心を育てたいものです。感謝することは、有り難いと思う心です。感謝がないことは、生きる力が無くなることです。有り難いと思うから大切にします。大切だから一生懸命になります。音楽に感動し感謝し、生きる喜びが湧いてきます。永年建て替えを夢に見た施設『泉の家』が、いよいよその姿を現し来春には完成します。引き続き『日の出舎』の建て替え希望が具現化します。皆様のご協力とご支援に深く感謝致します。今後ともよろしくお願い申し上げます。

事業展開 日の出舎

日の出舎将来計画

利用者の

希望を叶える

施設整備計画を申請

日の出舎は自立支援法完全移行を3年後にひかえ、この間、利用者やご家族及び関係者の意向、利用者や地域で福祉を必要としている方々の障がいや程度や取り巻く環境等を精査し、その結果を関係各機関に伝え、話し合いをしてまいりました。その中での皆様の率直なご意見は、自立支援法の考え方には一部賛成できるが、現在、その内容で行う施設(事業)サービス体系には問題があるとの見解が大半でした。そこで日の出舎は、入所施設として引き続き行ってい

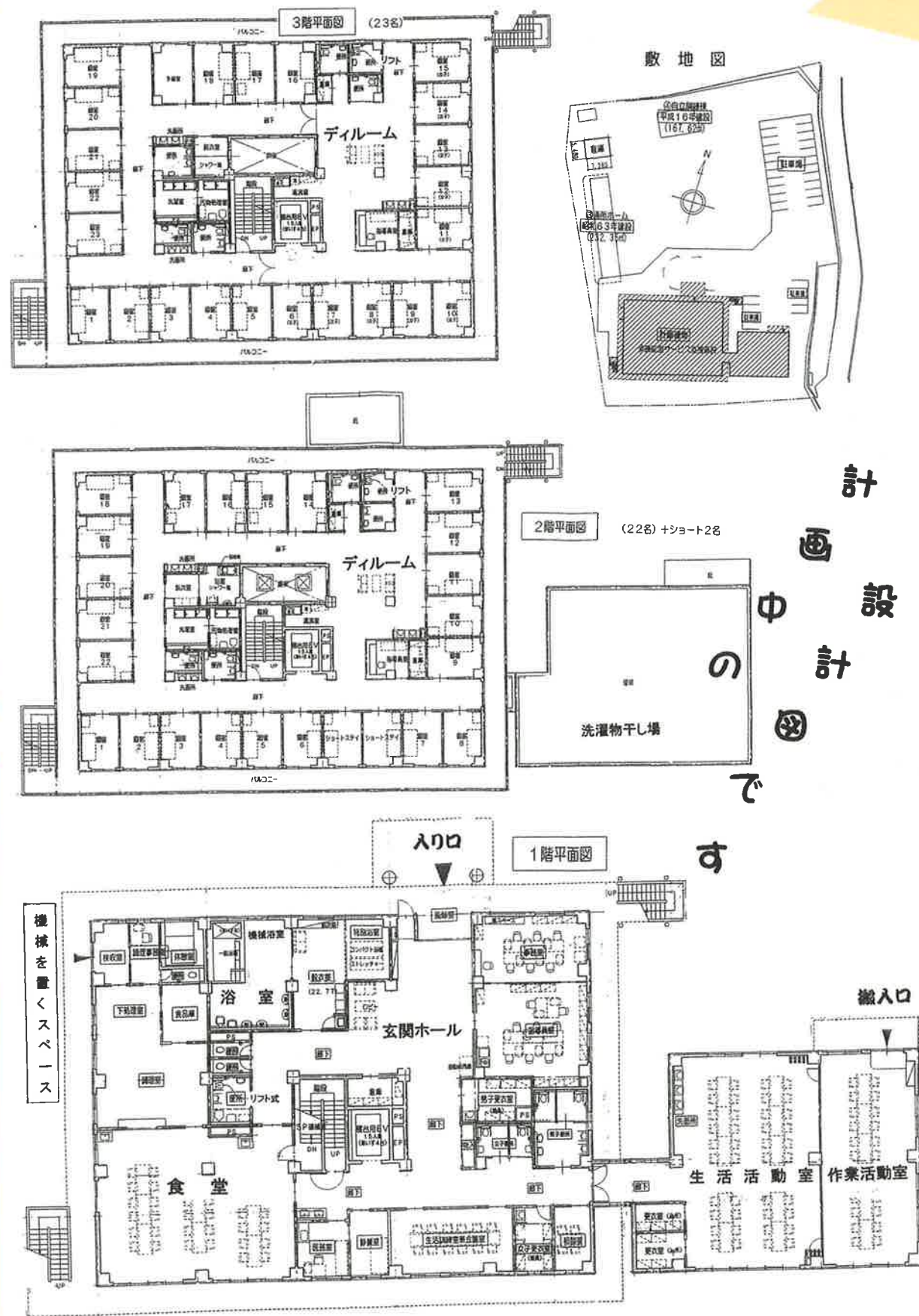
くことの信憑性を再確認し、新法移行事業では、施設入所支援を主軸として行うべく、都へ施設老朽化による「施設整備(建替え)計画」を7月に申請しました。これは、施設入所者の長年の夢でもありました。10年程前から3度に渡り建替え計画を設計会社と共に作成し、関係各機関と議論してきましたが、その時期の様々な理由により断念した経緯があり、利用者からは、またダメになるのではないかと不安の声があがっていました。したが、関係各位のご支援とご協力によりようやく第一歩を踏み出

日の出町のご協力

すことができました。一昨年から東京都の担当課と何度も協議し、その都度ご指導を仰ぎ、都の建築指導事務所や他公的機関との調整を行なってまいりました。今年2月には、地元自治会常会にて、自治会長をはじめ自治会四役様のご助力と町内会の皆様の温かいご支援により、了承を得ることができました。また、日の出町とは、支援をして下さる方々のご尽力により、町の関係者とお会いすることができ、福祉を推進する町行政として協力していただくこととなりました。同時に施設の土地の一部に町の宅地が存在しており、建替えにはその土地の処理が必要とのことで、この件もご担当課のご指導により速やかに購入することができました。申請書提出時には町の様々な書類が必要となりますが、町の関係各位のご協力と担当課のご指導により申請書類を調えることができました。かように日の出町行政や地域の方

や関係者など大勢の方のご支援とご協力により、10年来の夢が叶う可能性が一つ近づいたことになりました。ご協力して下さった皆様はこの場をお借りし、深謝申し上げます。その事業内容は、居住支援として施設入所支援(定員45名)とショートステイ(定員2名)、日中活動として生活介護(定員45名：施設入所支援利用者)と就労継続支援B型(定員20名：通所)です。建物が完成する時期を考え、2011年に移行するよう準備を進めています。建物概要としては、鉄筋コンクリート造り3階建、延床面積2,168.73㎡です。なお、同時期に「社会福祉施設等耐震化等臨時特例基金による特別対策事業」(内容は、施設整備計画と同様)の申請打診があり、その申込みもしました。今は、どちらかの内示が下りる事を願っています。

(西田 徹)





東京成城ロータリークラブの皆さま

日頃からお世話になっている、東京成城ロータリークラブの飯島様に相談した所、定例会で相談していただき、40周年記念行事の一部として、後援や募金活動・街頭でのチラシ配りなどを支援していただけることになりました。会長

会場の成城ホールは、4月に改装オープンしピアノや音響も良いと伺ったので、福田様と日程を調整させていただき決めました。広報では、ポスターやチラシの作成をボランティアの方をお願いいたしました。素晴らしいものとなりました。

月の光が降り注いでいるような演奏でした。



社会福祉法人泉会とは、設立より55年の月日が経ちました。長い歴史の中で、様々な苦楽がありました。その度に、障がいのある方々が求めていることは何かを問い、何が出来るのか、何をしなくてはならないのか、新しいことにチャレンジしながら、模索してまいりました。

その時、私共は気づきま

す。いつもいつも、多くの方々に守られていることを、決して私共だけでは成し遂げられないことを。この度、チャリティーコンサートを、企画実行いたしましたので、報告をいたします。

趣旨は、泉会の活動を更に向上させること。安心して地域で暮らせる、笑顔のある事業所での活動をPRし、障がいのある方々や地域の方々、関係機関などから、協力がいただける機会とすること。また、後援会である、いずみ友の会と共催で企画実施を行い、活動の周知、会員を増やせる機会とする。

福田様のピアノ演奏は繊細かつ大胆で、夢中で聴き入りました。曲の途中でお話を交えていただき、解りやすく、楽しおことが出来ました。最後のベートーベンの演奏は大迫力でした。

目的は、新たな事業展開に向けて、区民の方々に周知し、事業内容等を知っていただくこと。また、関係がより密になるように実施する。

10月8日成城ホールにて

チャリティー コンサート報告



Program



17:30 会場準備
18:20 開場
18:50 司会：大谷美津子様
挨拶：いずみ友の会 会長 尾崎風伍様
東京成城ロータリークラブ 会長 坂本親児様
19:00 公演
ピアニスト 福田直樹様
20:45 演奏終了
花束贈呈：大野久美子様
挨拶：社会福祉法人泉会 理事長 横山敏治
21:00 来賓者見送り
22:00 解散

～宇宙を描くバッハの作品～
「平均律」より
「半音階的幻想曲とフーガ」他
～華麗なモーツァルトの響き～
「きらきら星変奏曲」「トルコ行進曲」他
～ベートーヴェンの精神世界～
「ロンド」「熱情」ソナタ

また、後援会である、いずみ友の会と共催で企画実施を行い、活動の周知、会員を増やせる機会とする。

ありがとうございました。

- ◆募金収入
¥249,513
- ◆会場使用料、その他経費
¥158,188
- ◆来場者数
111名
(ボランティア・スタッフ除く)
- ◆ポスター・チラシの配布数
約4,000枚

ニコニコ! 耳寄り情報

福田直樹氏のチェンバロコンサートを、2010年1月15日(金)に岡本福祉作業ホーム・玉堤分場で行う予定です。ゆったりとした雰囲気の中で、チェンバロのやさしい音色をお楽しみください。入場料は無料です。玉堤分場までお問い合わせをお願いいたします。

玉堤分場だより

「二年を振り返り、感謝を捧げる」

福祉施設の現場は、程度の差こそあれ、どの施設もボランティアをはじめとする外部の人の助けに支えられていることと思います。分場もその例外ではなく、今回紹介をさせていただいた浅見さんも、我々の活動に大きなご助力をいただいている方の一人です。

浅見さんの本職は、玉堤分場への送迎サービスをお願いしている、(株)宮園自動車福祉部のドライバーさんです。しかし行き帰りの送迎以外にも、毎日ほぼ一日にわたり玉堤分場での作業活動にご協力をいただいています。作業活動以外にも一泊旅行等の年中行事にもご参加いただいております。もはや玉堤分場の一員です。そして、ユーモアにあふれた朗らかなお人柄もあり、利用者の方たちのよい話し相手にもなっているのだと思います。利用者の方



真剣に作業中ですが周りには笑い声が絶えません

「私もよくしてお願
いいたします。」
こちらこそ、これ
からもよろしくお願
いいたします。そし
て浅見さん、本当に
いつも、ありがとうございます。
(太田 真作)

泉の家だより

「地域・人との繋がりの大切さを実感」

代替地(弦巻)での活動になって一年が過ぎました。入所利用者の移行、代替地決め、引越しと、今となつては、あつという間に過ぎていった感じがします。

日常業務と並行して行なう、申請から承認に至るまでの「移行準備」は予想以上に大変でした。膨大な量の必要書類を作成し、毎日のように関係機関に足を運び、業者探し調整を行なう。それを何度も何度も繰り返してようやくここまで辿り着く事が出来ました。

もちろん、これは我々泉の家の職員だけで行なってきた訳ではありません。今回の「新施設移行」は、法人内職員の協力はもちろんの事、各関係機関、業者の方々等、本当に色々な方にご協力いただきました。また、近隣にお住まいの方々、ボランティアの方々などのご協力無しでは、現在の状況は無かつたと思います。



日頃の活動もボランティアの方々の協力があったものです。

また、建替え等に掛かる資金を少しでもと、募金活動も積極的に行ない、行事やイベントの開催・参加を増やしました。その際も、たくさんの方にご協力いただき、地域や人との繋がりの大切さを、より実感する事ができた一年であつたと思います。

あと数ヶ月後には「新しい泉の家」がはじまります。資金面の問題だけではなく、まだまだやらなくてはならない事はたくさん残っています。そんな皆様のご協力・ご期待に添えるよう、我々泉の家の職員も一丸となって、最後まで走り続けたいと思います。
(福田 公英)

岡本ホームだより

ボランティアの皆さんに支えられて

この度第58回東京都社会福祉大会において岡本ホームボランティアの前田隆さん、小泉誠さん、菅谷義弘さんが長年のボランティア活動の功績を認められ表彰されることとなりました。前田さんは作業の補助や外出の付き添い、菅谷さん、小泉さんは陶芸作業を指導して下さり3人共5年以上に渡りお手伝いいただいております。仕事をリタイヤしたあと第二の人生をこのように活き活きと過ごされる事は本当に素晴らしいことだと



さわやかな笑顔が若々しい小泉さん

と思います。

ボランティアを長く続ける秘訣は「自分の好きな事(趣味)を活かして、難しいことは考えず楽しんで行う」ことだそうです。人生経験も豊富なお三方からは教えていただく事も多く、私もみなさんのように上手に歳をとりたいたいと思う今日この頃です。
(河村 律子)



前田さんの周りにはいつも笑顔があふれています

日の出舎だより

1年を振り返つての感謝

月に2回、ボランティアの方々が4名お越しになって、はいから体操(車いすを用いたダンス)を行っております。ボランティアの方々は、プライベートでもソーシャルダンスや車いすダンスなどを行っており、忙しいなか時間を作つて来て頂いております。日の出舎では2年ほど前から、はいから体操が始まり、練習だけでなく利用者とのコミュニケーションもこまめに図つてくださり、利用者も日々の練習をとても楽しみにされています。今年の9月には、車いすダンスの世界を知るという目的



大会では敢闘賞を頂きました。

で、車いすダンス大会に参加させて頂きました。大会参加についてのお話は今年の4月頃にいただき、それまでは基本的な動き方などの練習でしたが、ダンス大会に向けての練習に切り替わり、利用者もさらにやる気が出てきたようです。ダンス大会当日は皆さん緊張していましたが、とても盛り上がり敢闘賞を頂きました。入賞した利用者もあり、ボランティアの方々も喜ばれておりました。

いつも利用者に熱心にダンスをお教えくださっている、はいから体操のボランティアの方々には、利用者一同とても感謝しております。今後一層連携していきたいと思っておりますので、よろしく願ひいたします。
(田中 弘樹)



参加者みんなで記念撮影

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇〇九年十一月二十一日発行(SKKP増刊通巻四二八四号)

縁あつて泉会

日産厚生会玉川病院
リハビリテーション科
作業療法士 松本容子



うまくできるかな？

当時の
リハビリ
テーショ
ンと言え
ば、病氣
や怪我を
抱えた人
が、温泉
地にある

原稿依頼をきっかけに、私と岡本作
業ホームの関わりを振り返ってみまし
た。長いお付き合いです。記憶違いや
勘違いなど事実と違うことがあつたら
すみません。先にお詫びしておきます。
まずは、私の紹介をします。岡山生
まれ、岡山育ち、リハビリテーション
の専門学校も自宅通学でした。そして、
漠然と一生を岡山で生きていくのだろ
うと思っていたのですが…。初めての
就職が静岡。さらに経由して東京に來
てしまいました。まだ20代でした。フ
ァッションや流行に興味があるわけ
なく、東京で一旗：なんて野心もない
私が、世田谷の玉川病院というところ
に就職しました。

リハビリテーション病院に湯治のよう
に療養に行くというスタイルがまだ主
流でした。そんな中で、玉川病院は皆
川医師・長谷川医師を中心としたリハ
ビリテーションチームで、地域に根ざ
した地域リハビリテーションを理念に
掲げ、患者様を地元で治療し、自宅に
退院していただき、長く地元で生活し
ていただくというリハビリテーション
を展開していました。そして、地域に
根ざす考えは、病院内にとどまらず世
田谷区の保健・医療・福祉をまたぐよ
うに積極的に院外活動も進めていまし
た。そんな中に、まだまだ経験の浅い
私が、飛び込んだわけです。「縁あつて
：玉川
病院」
です。
20数年
前です。
さて
同じこ
ろ、玉
川病院
の程近
くに、
岡本福
祉作業ホームという通所の授産施設が
出来ました。(ここからは、玉川病院側
の私目線です)できたてはやはや：ス
タッフの皆さんは脳性麻痺のことがよ
くわからないという不安を抱えつつ、
日々奮闘されていたようです。そこに



愛車で通勤しています。

玉川病院の活動を知り、医療スタッフ
の協力を：となったようです。玉川病
院は脳卒中のリハビリテーションを行
っており、脳性麻痺は、畑違いなので
私自身も不安を抱えながらの非常勤開
始でした。
週に1回・2回、ときには4回とい
うときもありました。又別のスタッフ
に交代もしました。ホームのスタッフ
もすっかりメンバーがかわり、利用者
様も随分とかわりました。又、ホーム
の活動自体も変化してきました。そう
して、20数年が経った現在、またまた
私が月1回ですが、かわらせてもら
っています。(随分強い)縁あつて、岡
本ホームです。

わたしがどのようなことをしている
かすこし紹介させていただきます。利用者
様がホームで行う活動に障がいなどの
ように影響しているかを評価しアドバ
イスします。又、加齢と共に機能低下
や障がい起きやすくなるので、変化
のチェックや対応のアドバイスを行いま
す。そのほか、作業活動で身体に負
担の少ない方法や道具の工夫・自助具
の製作(リハビリでは、自立を助ける
道具を自助具といいます)などを行っ
ています。

スタッフの皆様にも助けられ、利用者
様にも助けられ、続いてこれたと感謝
しています。縁が続く限り、これから
もよろしく願います。

発行所 障害者団体定期刊行物協会 領価五十円
東京都世田谷区砧六の二六の二二
編集人 社会福祉法人 泉会

ワンちゃんのための Cookie



糖類・調理油を一切使っていない、ワンちゃんのための
ヘルシーなおやつです。

直接お問い合わせいただきますと特別価格¥100で
提供させていただきます。

- 内容量：20 g
- 原材料：小麦粉／ローストふすま
ロースト胚芽／粉チーズ

◆御注文・お問い合わせ

泉の家 03-3417-3451 担当：福田